

## 稻敷市A I オンデマンド交通導入業務プロポーザル審査(評価)要領

### 1. プロポーザルの評価

- (1) プロポーザルの評価は、本要領に基づいて行い、それを参考にして、審査委員会の審議により、選定する。
- (2) 参加表明書等の評価表及び配点は、下記のとおりとする。
- (3) 技術資料については、評価基準により、あらかじめ事務局で評価を行い、審査委員会に提出する。

### 2. 業務実施上の留意事項（次の場合は委員会に報告する。）

- (1) 企業の同種業務実績がない場合。
- (2) 業務責任者が同種業務の実績がない場合。
- (3) 業務責任者が提出者の組織に属していない場合。
- (4) 業務責任者が1名でない場合。
- (5) 業務責任者が、それぞれ他の担当者を兼任している場合。
- (6) 業務分野の大部分を再委託する場合。
- (7) 協力会社が稻敷市の指名停止を受けている期間中である場合。
- (8) その他、設定した条件を満たしていない場合。

### 3. 技術資料の評価項目及び配点、評価基準

提出された技術資料について、次の評価基準に基づき評価する。

なお、実績が無いものについては、原則、企画提案書の採点をせず失格とする。ただし、審査会が認めた場合はこの限りではない。

評価項目	評価基準	配点
会社概要・業務実績について	・業務遂行に有効な経験、実績を有しているか。同種業務の実績があるか。	10
業務実施体制	・必要な専門的知見・経験を有する人員が十分に配置されているか。 ・役割が適切に示されているか。	5
小計		15

### 4. 企画提案書の評価項目及び配点、評価基準

提出された企画提案書について、次の評価基準に基づき評価する。

なお、企画提案書の内容がほとんど記載されておらず、提案内容が判断できない、業務目的に反する記載や事実誤認等、適切な業務執行が妨げられる内容となっている、実施方針と提案内容に矛盾等があり整合性が図られていない場合は評価しない。

評価項目	主な評価基準	配点
業務スケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業内容が明確であるか。</li> <li>・スケジュールが妥当な提案であり、柔軟な調整が可能であるか。</li> </ul>	5
システム構成とデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム（各種アプリやドライバー・管理者画面）の構成、階層に統一感があり、見やすく、理解しやすいデザインとなっているか。</li> <li>・利用者へ配慮あるデザインとなっているか。</li> </ul>	10
システムの機能要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用し、利用者、運行事業者及び運営主体のいずれにとっても効率的かつ利便性の高いシステムであるか。</li> <li>・運行実績等をエクセル／CSV等の形式で出力でき、そのデータが確認・分析しやすいよう工夫がなされているか。</li> </ul>	15
サポート体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型交通の運用中のサポート体制や支援内容は十分なものか。</li> <li>・保守管理におけるサポート体制、内容は十分なものか。</li> <li>・システム障害が発生した際も迅速に対応できる体制がとられているか。</li> </ul>	10
セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護対策について配慮されているか。</li> <li>・信頼性の高いシステムの構築が期待できるか。</li> <li>・適切なセキュリティ対策は講じられているか。</li> </ul>	10
独自の提案内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のデマンド配車予約システム提供事業者と比べた自社の優位性等について説明されているか。</li> <li>・有益な独自提案がなされているか。</li> </ul>	5
小計		55

採点は評価項目の採点基準に基づき評価点を算出する。

#### 【評価項目の採点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.75
C	普通	配点×0.5
D	やや劣っている	配点×0.25
E	劣っている	配点×0

## 5. ヒアリングの評価基準

ヒアリングの質疑応答の内容について、次の評価基準に基づき評価する。

ヒアリングでは企画提案書に記載された、業務実績、課題に関する提案内容、あるいは取組み姿勢（業務の着目点や実施方針）に関する質疑応答を行う。

評価項目	評価基準	配点
専門技術	当該業務の実施方針等や手法について明確に説明でき、業務経験や知識が豊富であるか。	10
取組意欲	当該業務全般を通して取組意欲が感じられ、効果的な提案や積極的な補足説明を示しているか。	5
プレゼンテーション能力	わかりやすく業務に対する期待度が持てるか。また、質問に対する回答が的確で簡潔であるか。	5
小計		20

## 6. 見積書の評価基準について

評価項目	評価基準	配点
見積価格	見積価格は提案限度額内に収まり、適切であるか。	10

参加者中、参考見積金額が最も低いものを10点とする。以下、参考見積金額に応じて点数を比例配分とする。（小数点以下第3位を四捨五入して第2位止め）

## 7. 企画提案書の特定

プロポーザル審査委員会は、提出された技術資料、企画提案書及びヒアリングについて、各々の評価基準に基づき算出された合計点が最も高い者を、当該業務に最適な者として特定する。

合計点が同点となった者が複数あった場合は、企画提案書の評価の得点がより高い者を特定者とする。

なお、企画提案書を出したものが1者のみであった場合は、その者を上記の評価基準に基づき評価したうえで協議し、審査委員が認めた場合はその者を最適な者として特定する。